



椿 花言葉：控えめな愛、慎み深い

四万十川ニュース Vol.106

中村河川国道事務所 平成28年1月22日

四万十川自然再生事業 現地研修会

「四万十川自然再生協議会」は、四万十川の豊かな自然と環境を守るため、地域住民が主体となり、意見・提案・活動を行い、地域の活性化を図ることを目的として設立された民間の団体であり、自然観察会などの環境学習活動や「菜の花まつり」等の各種行事などに取り組んでいます。

去る平成27年11月27日(金)、こうした取り組みの一貫として、現在、中村河川国道事務所が実施している四万十川自然再生事業のアユの瀬づくり、魚のゆいかごづくりについて、計画や目的、実施状況等の理解を深めるため、協議会の主催で現地研修会が開催されました。

当日は、協議会のメンバー、行政関係者、アユやスジアオハの専門家など約40名が集い、自然再生工事の施工箇所を確認しながら事業の目的やこれまでのモニタリング結果等について見識を深めました。

国土交通省は今後もこのような研修会の開催に協力し、地域と協働した四万十川の自然再生事業を推進していきます。



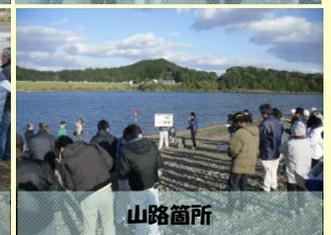
入田箇所



モニタリング調査方法の実演



具同(赤鉄橋)箇所



山路箇所

第7回 四万十つるの里祭り



パフォーマンス



パネル展示



ヅル食堂



紙飛行機大会

「第7回 四万十つるの里祭り」が平成27年11月28日(土)に開催され、約800名が会場である東中筋中学校に訪れ祭りを楽しみました。

この日はとても寒い一日だったこともあり、来場者は四万十川河畔でつんだ野草とヅルの越冬地として整備した江ノ村地区の田でとれた米を使ったおかゆや、焼きそばなどが並ぶ「ヅル食堂」でまずは身体を温め、その後、お目当てのイベントへ。野鳥の巣箱作りや紙飛行機大会などに参加したり、漫談や土佐中村一徳太鼓などのパフォーマンスを楽しんでいました。

今季は200羽以上のヅルが飛来したこともあり、パネル展示を熱心に眺めている人もいました。

新春たこあげ大会

平成28年1月17日(日)四万十市の冬のイベントである「新春たこあげ大会」が、今年も入田河川敷(四万十市キャンプ場)で開催され、約50名の親子連れが凧あげを楽しみました。

この日は、今にも空が泣き出しそうなお天気で、開催が危ぶまれていましたが、自慢の和風を片手に参戦した子どもたちの気合で、大会を決行！最初はうまく風に乗せられなかった子どももいましたが、親子連携プレイで凧が空に舞い上がると、大歓声が起こりました。風に乗った凧はぐんぐんとあがっていき、凧糸の長さが足りなくなり、あわてて糸を足して、空高く見えなくなるくらいまであげている薄腕(すごうで)の持ち主もいました。

大会終了後には「たこあげキング」や「たこあげクイーン」などの表彰が行われ、参加した子どもたちに参加賞が配られました。豚汁も振る舞われ、心身ともに温まるイベントになりました。



四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

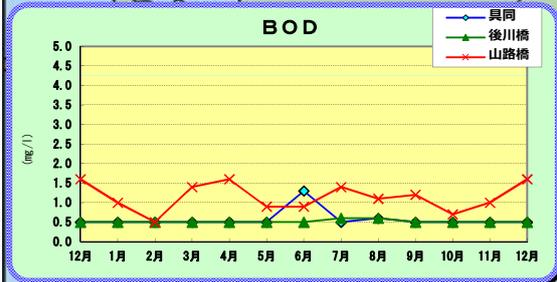
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

12月の四万十川の様子

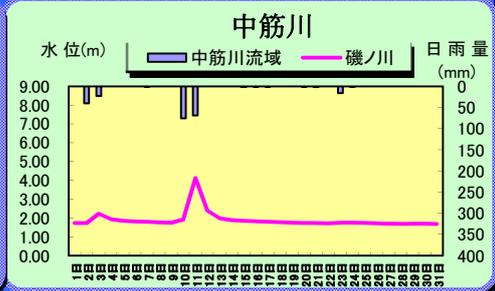
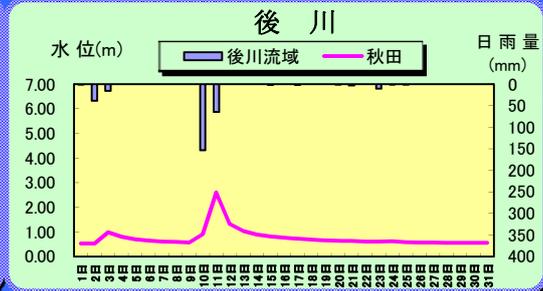
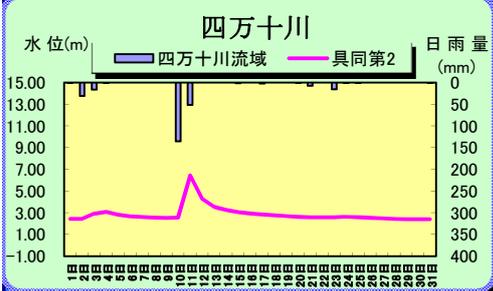
四万十川の水質

具同観測所
(12月2日測定)

水温 13.2℃
 pH 7.4
 BOD 0.5mg/l
 SS 1mg/l
 DO 10.9mg/l
 大腸菌群数 1300MPN/100ml
 流量(日平均) 28m³/s
 ※測定値は全て速報値です



雨量・水位データ



流域平均雨量(12月)



12月の四万十川流域平均雨量262mmは平年の約2.8倍程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は92mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

